

進捗状況報告シート

(2010年度・大学)

担当部局は☆印の箇所を記入のこと。

I. 評価項目・要素と担当部局

対象部局	人間福祉学部
大項目	6 教育内容・方法・成果
中項目	6.4 成果
小項目	6.4.1 教育目標に沿った成果が上がっているか。
要素	学生の学習成果を測定するための評価指標の開発とその適用 学生の自己評価、卒業後の評価（就職先の評価、卒業生評価）
小項目	6.4.2 学位授与（卒業・修了判定）は適切に行われているか。
要素	学位授与基準、学位授与手続きの適切性 学生の自己評価、卒業後の評価（就職先の評価、卒業生評価） 学位審査および修了認定の客観性・厳格性を確保する方策（院）（専門）

II. 自己点検・評価《進捗状況報告》

【現状の説明】

《目標・指標》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定した。

目標の進捗状況は「A:適切に実行している」「B:概ね実行している」「C:必ずしも実行していない」「D:実行していない」とし、自ら評価した。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価
1. 授業時間内におけるコメントカードによる学生の理解度・到達度を全科目で確認する。	→コメントカードによる学生の理解度・到達度確認の実施。	B
2. 学部における成績上位者を公表する。	→成績上位者の公表。	A
3. 専門的人材を養成できたかどうかを評価する。	→社会福祉士・精神保健福祉士の国家試験資格取得者の合格率、中学校・高等学校教員免許取得者数、公務員試験合格者数、初級障害者スポーツ指導員資格・キャンプインストラクター資格取得者数、福祉・健康関連施設・機関への就職率、福祉・健康・国際援助関連NPO・NGO団体への就職率、大学院進学率、社会起業の立ち上げ数。	—
4. 中学校・高等学校教員、公務員、福祉・健康関連施設・機関、福祉・健康・国際援助関連NPO・NGO団体といった教育目標に合わせた就職を実現する。	→就職の実績数値。	—
5. 総合的な質的評価を開発する。	→総合的な質的評価の実施回数。	D

2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価
	→	☆
	→	☆

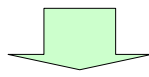
《小項目ごとの現状説明》 ※ 全小項目について記述が必要

☆ 小項目6.4.1	(方針) 教育目標に沿った人材育成や就職を実現する。また学位授与の判定に関する基準の設定や手順の明確化を行う。 (現状説明) 各授業においてコメントカードを用いた学生の理解度、到達度の把握に努めている。資格取得者の合格率、教育目標に合わせた就職先等については完成年度を迎えていないため不明確だが、社会福祉士の受験資格取得や、保健体育教員免許取得を目指す学生は多く存在する。
☆ 小項目6.4.2	(現状説明) 完成年度を迎えておらず、卒業生がいないため、就職先および卒業生の評価はできていない。学位授与基準、学位授与手続きについては適切に措置している。
☆ その他	進捗評価欄の「—」は、完成年度を迎えていないため評価不能を表す。

◎効果が上がっている事項

【点検・評価 (1)】効果が上がっている事項

小項目6.4.1	コメントカードに記入させることにより、授業の改善点、学生の理解度等を把握している。
★小項目6.4.2	学位授与基準にもとづいた単位数について適切に指導できている。
その他	



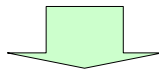
【次年度に向けた方策(1)】伸長させるための方策

小項目6.4.1	
★小項目6.4.2	
その他	

◎改善すべき事項

【点検・評価 (2)】改善すべき事項

小項目6.4.1	
★小項目6.4.2	
その他	



【次年度に向けた方策(2)】改善方策

小項目6.4.1	
★小項目6.4.2	
その他	

◎自由記述

【点検・評価】&【次年度に向けた方策】

★その他 (自由記述)	
----------------	--

Ⅲ. 学内第三者評価

<評価推進委員会からの評価> (実務作業は評価専門委員会、評価情報分析室、企画室)

【学外委員】

○全科目におけるコメントカードは優れた工夫として評価できます。

【学内委員】

○(方針)は不要です。現状説明に含んでください。

○コメントカードによる理解度・到達度把握の努力は評価できます。

○成績上位者の公表の実態について説明してください。

Ⅳ. 学内第三者評価の評価結果を受けての追加記述

★	成績上位者の公表は、2009年度は2年生以上を対象とし、学科毎に年間GPA上位5%以内の者の学生番号を掲示して公表を行った。
---	--

V. 本項目の評価指標

<全学的な指標>

6.4.0.S1	学生の授業評価におけるシラバスの有効性に関する質問への肯定的な回答の比率
6.4.0.S2	定期試験の問題の適切性を検討する会議・委員会の有無と開催頻度
6.4.0.S3	各学部における学生の進路状況
6.4.0.S4	一括申請による教職免許状取得件数および取得者実数
6.4.0.S5	日本学術振興会特別研究員応募者の有資格者に占める割合
6.4.0.S6	各年次 Semester ごとの履修単位数制限の状況
6.4.0.S7	成績評価の分布が適正な科目(平均点が70-75点)の比率
6.4.0.S8	GPA値(全学、学部別、男女別など)
6.4.0.S9	修士学位・博士学位・専門職学位の授与数
6.4.0.S10	KGPSの修士学位・専門職学位の授与数
6.4.0.S11	3年卒業の適用者数
6.4.0.S12	ジョイント・ディグリーの授与者数
6.4.0.S13	標準修業年限未満の修了者の数
6.4.0.S14	在学生のうち「この大学で人生の一時期を過ごすことが、将来にとって役立つと思う」人の比率

<個別的な指標>
